

平成30年度 鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議 次第

日 時 平成30年11月22日(木) 午前10時00分～11時30分

場 所 中部総合事務所 1号館A棟2階 講堂

次 第

1 あいさつ

2 議 事

(1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

(2) 各管理者の土砂管理への取組

- ・ 由良川河口閉塞対策の検討状況

(中部総合事務所県土整備局河川砂防課)

- ・ 北条川放水路河口砂州対策～特殊エジェクター工法～を用いた試験施工の実施状況

(中部総合事務所県土整備局河川砂防課)

- ・ 北条川放水路河口部治水対策(河口砂州対策)の検討状況

(中部総合事務所県土整備局計画調査課)

3 その他

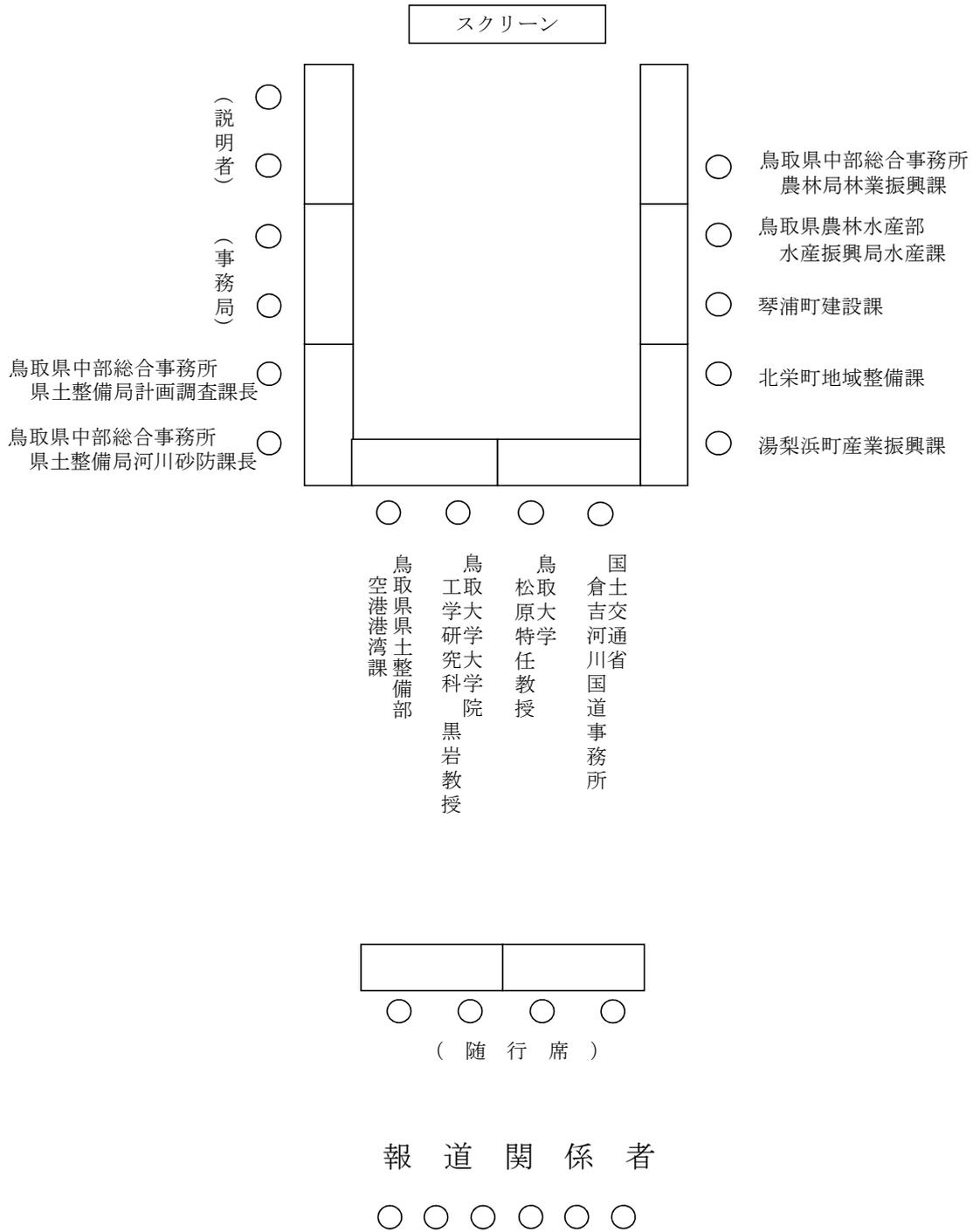
平成30年度 鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議 出席者名簿

H30年度		役 職	氏 名	随 行 者
構 成 員	鳥取大学大学院工学研究科	教 授	黒岩 正光	
	鳥取大学	特任教授	松原 雄平	
	国土交通省倉吉河川国道事務所	調査設計第一課長	安藤 政司	係長 南 相政
	境海上保安部警備救難課		欠 席	
	湯梨浜町産業振興課	課 長	西原 秀昭	
	北栄町地域整備課	地域整備室長	有福 亮	
	琴浦町建設課	課長補佐	石賀 勝	
	鳥取県農林水産部水産振興局水産課	課長補佐	石原 幸雄	
	鳥取県県土整備部空港港湾課	課長補佐	小屋 隆志	
	鳥取県中部総合事務所農林局林業振興課	課長補佐	中村 徳和	
	鳥取県中部総合事務所県土整備局	計画調査課長	石賀 祐二	課長補佐 安本 善征 係長 前田 崇文
河川砂防課長		山本 博巳	課長補佐 岩竹 秀喜	

事務局

鳥取県県土整備部河川課

平成30年度 鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議 配席図



平成29年度 鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成29年10月31日（火）午前9時30分から11時

場 所：中部総合務所1号館A棟2階 講堂

1 議事

(1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を海岸毎に説明。

[検討対象海岸：天神川右岸地区、天神川左岸地区、由良川左岸地区]

<会議での主な意見>

意見) 羽合長瀬海岸では、保安林の前の直立護岸が吸い出し等を受け、沈下してしまった。さらに背後の防風柵が海に流出する等の被害があった。

現対応状況：平成30年5月に災害査定を行い、11月に施工業者と契約。冬季風浪後の3月より、直立護岸及び前面の消波ブロック等の復旧を行う予定としている。

(2) 各管理者の土砂管理への取組

■ 天神川河口砂州の解析（倉吉河川国道事務所）

- ・平成24年12月に河口閉塞が原因で浸水被害発生したことを受け、低水時に河口閉塞したときの対策の検討を鳥取大学と協同で開始しているところ。
- ・河口砂州の土砂量は10月以降の高波浪時に堆積し、静波浪時に減少傾向となっている。
- ・収集した各データをもとに、河口砂州形成のシミュレーションを実施した結果、一部異なる点が見られたため、今後は、波浪データや漂砂係数を見直していく。

<会議での主な意見>

意見) 天神川の西の羽合長瀬海岸沿岸については、県では測量が実施されないので、この検討に合わせて、国の方で測量等のモニタリングをお願いしたい。

現対応状況：天神川河口砂州の解析のため、羽合長瀬海岸沿岸で、平成29年度に汀線・深淺測量を実施。

2 その他

■ 浜崖後退抑止工(サンドパック)の取組状況について

- ・岩美海岸においては、海水浴シーズンに間に合うよう養浜を行うが、数日で侵食が発生し、追加で養浜を行うなど、維持管理の面で多くの問題が発生している。
- ・そのため、8月にその対策を検討する委員会を開催し、景観面、防護性、経済性を検討した結果、浜崖後退抑止を目的としたサンドパックにより対策を行うことが決定し、11月に試験施工を行うこととしている。
- ・試験施工後は定期的にモニタリングを実施し、その結果を基に、検討委員会にて、本施工の対策を決定していく。

<会議での主な意見>

意見) 来年度の予算要求は、どの程度を予定しているか。

回答) 浦富海岸の試験施工及びモニタリングにかかる費用を要望している。

現対応状況：サンドパック試験施工及びモニタリング調査の費用が予算化され、平成30年7月の浜崖検討委員会を経て、試験施工及びモニタリング調査を実施中。